

# インセンティブ デスティネーション 「日本」の発展に旅行とイベントを包括する プロ集団 **site** (Society for Incentive Travel Excellence) の活用を!

FIRST INCENTIVE TRAVEL  
Mr. Joost de Meyer Chairman & CEO



成田空港で出迎えてくれた知人のサプライズ。  
「和」の素材が印象的なお手製のウェルカムボードを手に。  
FIRST INCENTIVE TRAVELの副社長  
Ms. Iris Langankeと共に。

— FIRST INCENTIVE TRAVEL 社、また来日の目的についてお聞かせください。

FIRST INCENTIVE TRAVELは、1979年にオランダ人の創業者 FONS KUPPERS氏が、オランダからアメリカへのインバウンドを目的として設立。私は、1999年に共同経営者として参画し、2000年1月に会社を買取り、現在に至っています。FIRST INCENTIVE TRAVELのオーナーとして最初にフロリダに新たなオフィスを開業し、2005年にニューヨーク、サンフランシスコに、そして今ではマイアミ、ラスベガスにもオフィスを構えています。

私たちのビジネスの90%はヨーロッパからのインセンティブツアーの受け入れで、10%がメキシコやカリブ、ヨーロッパなどへのアウトバウンドです。アウトバウンドのクライアントが、インセンティブ開催地としてタイや中国、シンガポールなどアジアへの関心を高めています。このような中、2020年に東京オリンピックを開催する話題性のある日本は、大きな可能性を秘めていると感じています。そこで今回は東京、ソウル、ハノイをめぐる、SITE Global Conferenceが開催されるニューデリーでは、「Young Leaders Forum」でスピーカーを務め、帰国します。

— 事業にとどまらず、業界発展にもご活躍なのですね。

私はSITE (Society for Incentive Travel Excellence)で4年間理事を務め、メンバーとしての活動は16年になります。この間、2005年にMember of The Yearを、2015年にはMaster Motivator Awardを受賞しました。特にMaster Motivator Awardは、SITEのプロモーション活動とインセンティブ産業への貢献に対して与えられる表彰です。日本

では森本さんが2012年に受賞されており、今回の来日の目的のひとつは彼に会うことでした。

ところでSITEは、インセンティブを旅行だけでなく、イベントを含めて総合的にとらえる考えから、2014年に、これまでのSociety of Incentive Travel ExecutivesをSociety for Incentive Travel Excellenceへ、名称を変更しました。

また私は、MPIのメンバーとしても16年間活動を続けており、MPIがIMEXとMCIと共同で実施する「Future Leaders Forum」にも参画。次代を担う若者を育成する「Future Leaders Forum」は、IMEXのみならずIT & CMAなどのMICEトレードショーで展開されています。

ほかにもウクライナ、ベトナム、カンボジア、ポーランド、アメリカなどで、さまざまな課題を解決するMENTORとしても活動を展開しています。

— 日本の将来性を、どうお考えですか？

私はオランダで観光業について学び、オランダ企業のアウトバウンドを中心にインセンティブ旅行の仕事を始めました。ここで感じたのは、「クリエイティブ」の重要性です。そのためにコラボレーションが必要になりますが、プロフェッショナルなSITEメンバーのネットワークが非常に役立っています。SITEメンバーの拡大は、ビジネスチャンスの拡大にも繋がるのです。こうした観点から、中国やインドのSITEのチャプター創設にも協力しています。

オリンピックを控え今後、相当数の需要が見込まれる日本では、観光庁やJNTO、JCCBなどの機関が、日本を十分プロモートされているのですが、「どのようにすればインセンティブのデスティネーションとしてインドをプロモ

ートできるか？」という課題にアドバイスした事例を紹介したいと思います。この課題を私に投げかけた男性は、当時、SITE唯一のインドのメンバーでした。そこで、お話したことはSITEのネットワークをうまく活用すること。そのために、メンバーを拡大させる必要があるということ。彼はインドのMICE関係者を集めてSITEの紹介から始め、今では50人のメンバーを抱えるチャプターが創設され、理事を輩出するに至りました。こうした動きの中で、インドがたびたび話題に上がり、SITEの理事が次々とインドを訪問するようになり、今年、SITE Global Conferenceが開催されるのです。

SITEのイベントが開催されれば、当然、世界中のメンバーがインドを訪問します。この訪問で、実際のデスティネーションを認識・体験し、地元インドのメンバー（パートナー）とのビジネス交流も実現。インドとのビジネスベースができたことで、今後、インドへの送客は必ず拡大するでしょう。このように、自信をもって言い切ることができるのも、実は中国で同じ取組みを行い、既に大きな成功を収めているからです。中国大会には森本さん、徳田さんも参加されましたね。日本のメンバーは現在4人ですが、20人でチャプター設立が可能となります。中国やインドの取組みに関心があります。中国やインドの取組みに関心がありでしたら、協力は惜しみません。インセンティブビジネスに大きな力を与えてくれるメンバーはもとより、SITE ファウンデーションや教育プログラムも、ぜひ、活用ください。魅力的なインセンティブ・デスティネーション「日本」を効果的にプロモートし、実績、ビジネスに直結させるのがSITEです。

(文責：編集部)

インタビュー協力：  
(株)イベントサービス 代表取締役  
The SITE Club of Japan 代表  
森本 福夫 氏

